

CONTENTS

2,3... **特集** 確認検査って何だろう?

4... 数字で見る骨髓バンク「105例」／提供ドナーインタビュー

5... 「命の感謝状」ありがとう!ドナーさん・患者さん!!

6... 日本骨髓バンクの現状／トピックス

7... 登録内容変更の手続きをお願い／京都大学iPS細胞研究所
 バンクニュース発行のメールによるお知らせ

8... コーディネーター養成研修会受講者募集のお知らせ
 募金のお祝い／プレゼント

■日本骨髓バンクの現状 ※2015年5月末現在

登録者数

45万1,982人

移植数

18,253例

「不思議な命の繋がりをみたいなのを
 感じることができたように思います」



テレビ東京の経済ニュース番組「ワールドビジネスサテライト(WBS)」でマーケットキャスターを担当している豊島晋作さん。骨髓提供したその様子が同番組でオンエアされました。提供時のことを振り返って、お話を伺いました。



豊島キャスター(右)メインキャスターの
 大江麻理子さん(左)もドナー登録しています

プロフィール

1981年福岡県生まれ。テレビ東京報道局所属。
 2005年3月東京大学大学院法学政治学研究科
 修了。同年4月テレビ東京入社。2011年春から
 WBSのディレクター、同年10月からWBSのマー
 ケットキャスターを担当。

*登録したきっかけは何ですか?

取材でお世話になっていた証券会社の方が突如、急性白血
 血病で入院されました。家庭ではよき父親でもある働き盛
 りの男性です。「ごくわずかでも役に立てる可能性があるな
 らば、それはドナー登録かもしれない」と思い、登録をし
 ました。人生はいつどうなるかわからない。自分がもし白血
 病になったら、骨髓バンクを頼るだろう。健康な今は「頼られ
 る側」になっておこうと思いました。

*提供するまでの感想をお聞かせください

私の体調管理にミスがあつてはならない。交通事故なんか
 にも絶対あつてはいけない。毎日オンエアがあるので体調に
 は特に注意していますが、このときは一層気を配って過ごし

*提供して変わったことはありますか?

提供後、患者さんとその奥様から丁寧なお手紙を頂きました。
 「白血病と宣告されたときは夫婦で目の前が真っ暗にな
 ったこと。それでも二人で手を取り合つて移植の日を迎え
 たこと。そして感謝の言葉」最後まで丁寧な字で綴られてい
 ました。どこにお住まいのどなたかは分かりません。しかし、
 一切の匿名性を超え、不思議な命の繋がりをみたいのを感じ
 ることができましたように思います。

*職場の協力・反応はいかがでしたか?

検査などで、病院には5、6回以上は通いましたが、会社
 側が理解を示してくれたことはとても助かりました。勤め先
 の協力は非常に大事だと思っています。番組スタッフも全面的に
 バックアップしてくれ、最終的には、私の提供の様子を放送
 することもできました。経済ニュース番組としては前例のな
 いことでしたが、社会的に放送する意義があると、オンエア
 の判断を下したプロデューサーには感謝しています。

提供後、患者さんとその奥様から丁寧なお手紙を頂きました。
 「白血病と宣告されたときは夫婦で目の前が真っ暗にな
 ったこと。それでも二人で手を取り合つて移植の日を迎え
 たこと。そして感謝の言葉」最後まで丁寧な字で綴られてい
 ました。どこにお住まいのどなたかは分かりません。しかし、
 一切の匿名性を超え、不思議な命の繋がりをみたいのを感じ
 ることができましたように思います。



提供した時の全身麻酔の様子

確認

検査って

何だろう？

「患者さんとHLA型が一致しました」という適合のお知らせが届き、同封の書類を返送いただく
と提供に向けてのコーディネーターが始まります。ドナーの皆さまには、コーディネーターと調整医師
からの説明と、健康状態の確認のため病院へ行っていただきます。これを「確認検査」といいます。

ポイント！

◎コーディネーター・医師が詳しい説明を行い、コーディネートを進めても問題がないかを相互に確認します。
◎面談後、医師が問診・診察を行い、問題がなければ採血します。

1 適合のお知らせ

患者さんと適合するとドナーに書類が郵送されてきます。その時、来院可能な病院を選べますが、空き状況等の都合があるので、必ずしもご希望に添えるとは限りません。

2 コーディネーターから連絡



書類を返送すると担当のコーディネーターから電話で、都合の良い日程と病院を伺います。
その後、病院と調整し確認検査の場所と日程が決定します。



専用封筒で郵送します。

3 病院へ「待ち合わせ」

14:30 確認検査当日

4 コーディネーターからの説明

14:40 確認検査当日



コーディネーターが、お知らせした提供方法についての詳しい説明を行います。また、本人確認書類（運転免許証等）を提示いただきます。提供の意思、今後の予定や状況、ご家族のお気持ちも伺います。

※疑問がある場合は、遠慮なく質問してください。

当日は、指定された病院に行ってください、コーディネーターと待ち合わせます。

6 医師の問診・診察・採血

15:40 確認検査当日



その後、調整医師が問診・血圧測定などの診察を行い、問題がなければ約20mlの採血をします。

5 確認検査の同意書へ署名

15:30 確認検査当日



説明後、ドナーが検査のための採血に同意すれば「確認検査の同意書」に署名します。

確認検査終了！

(所要時間)
**1時間
30分**

所要時間は検査を含めて、1～2時間前後です。施設によって異なりますが、基本的に月曜日～金曜日の午前9時から午後3時ごろまでの間に実施します。

持ち物

・ドナーのための
ハンドブック



・本人確認書類
(運転免許証・
健康保険証など)



・筆記用具

・印鑑



確認検査 Q&A

まとめ

「骨髄または末梢血幹細胞提供のコーディネーター」対象の方は、確認検査面談時に承諾できない採取方法があるかお伺いします。ドナーが承諾しない採取方法による提供を依頼することはありません。

また、患者さんは、5人までドナーのコーディネーターを並行して進めることができます。辞退した場合でも、患者さんはすぐに他のドナーを検索することができます。患者主治医は、確認検査の検査結果などすべての情報を検討し、最も移植に適したドナーを選びます。

最終的に選ばれたかどうかをドナーにお知らせするまでに、2週間から2カ月程度かかります。また、何人のドナーが進行中であるか、お知らせすることはできません。これは、ドナーの自由意思を確保するためです。

「とりあえず確認検査を受けてみて、最終ドナーに選ばれたらその時にまた考えよう」「決まったら親を説得しよう」と思う方もいるかと思えます。最終同意面談で、同意書に署名捺印前までは、いつでも提供を辞退することは可能ですが、適合のお知らせが届いた段階で、数カ月後までのご自身の予定（家庭や仕事の調整がつくかどうか）の確認をし、同時に家族の理解を得ておくことをおすすめします。

そうすることで最終ドナーとして選ばれた場合もスムーズにコーディネーターを進めることができます。

Q. 提供するのに、医療費などドナーが負担するの？

A. いいえ、入院費は患者さんが負担し、往復の交通費は、日本骨髄バンクが負担します。

Q. 確認検査後、ドナーとして選ばれる確率は？

A. 統計によると4分の1くらいです。ただし、患者さんの状況やドナーの健康状態などにより、コーディネーターが進むかどうかは異なってきます。

Q. 近隣の病院で確認検査をできないか？

A. 確認検査は、日本骨髄バンクが委嘱した調整医師が所属している病院でしかできません。

Q. 確認検査は、土日や夜の時間帯にできないか？

A. 施設によっては土曜日行えるところもありますが、ごく稀です。確認検査で採取する血液検体を運搬する都合で、平日の午前9時から午後3時頃までの時間帯に実施します。

調整医師



みやした ゆうこ
宮下裕子先生

調整医師は、ドナー候補者に対して確認検査や最終同意面談の時、医学的な説明・問診・採血を行います。医師は通常業務の他に、骨髄バンクの調整医師をボランティアで引き受けています。患者さんに何人のドナー候補者がいるか知らされず、私たちはそれぞれのドナーに対応します。だいたい確認検査を受けたドナーの4人に1人くらいが選ばれ、最終同意面談に進みます。

確認検査は、大きい病院で行う場合もありますが、私のように自身が開院しているクリニック等で行う場合もあります。調整医師の

仕事は、自分だけで行えるものでもなく、看護師や事務のスタッフの協力もあり、診療時間の合間を縫って、月に1〜2件行っています。もちろん採取・移植施設でも行っていますが、そこで働く医師も忙しく、その忙しさを皆でシェアしたいと思い、20年以上調整医師をしています。ドナーも仕事の都合をつけて来てくださるため、当院は駅から近く便利なので、少しでも役に立ちたいと思いつけています。また、血液内科医として、少しでもコーディネーター件数が増えるよう、土曜日の診療時間の合間に確認検査や最終同意面談を行うこともあります。

ドナーには、何回も病院に来ていただき、提供には入院が必要等、大変な負担があるかと思えます。しかし、骨髄バンクのドナーとして患者さんに命のプレゼントができる「最高のボランティア」であることを伝えたいです。

コーディネーター



あべ こずえさん
阿部 こずえさん

コーディネーターは、確認検査でドナーに初めてお会いします。やはり会ってみたいと分らないこともありますので、コーディネーターになって2年目に入りましたが、未だに緊張します。多くの方は、患者さんを助けたいという気持ちでいらつやいます。コーディネーターがどのように進むのか、具体的な日程の決め方等、実際の流れをイメージしやすいようお話しするようにしています。提供に至るまでには、ご自身の仕事や家庭の都合をつけていただかなければなりません。

例えば、海外旅行は提供が決まったら控えていただく、ご主人の転勤で引越す予定等、その方により違います。患者さんは確認検査の段階

では複数のドナー候補者を並行して進めることができるので、ご自身の都合で本当に提供できるのかを考えてくださいと申し上げています。私は千葉県内のドナーを担当し、ドナーの希望があれば東京まで行くこともあります。だいたい月に4〜5件、多い時で10件程度のコーディネーターを担当しています。

私自身、90年代にドナー登録をし、1度だけ適合のお知らせを受け取ったこともあります。数年前、大きな病気をしたので、ドナー登録は取り消しとなりましたが、「誰かのためにできるかな」「今が働く最後のチャンスかもしれない」と思いコーディネーターに応募しました。結婚後、仕事を辞め出産しましたが、子供も現在14歳となりました。子供の受験が終わって、子育てがひと段落したのも「もう一度働きたい」と思っただけでもありません。

コーディネーターとして、ドナーに最後に提供してよかったと思っていただけのお気持ちに寄り添うことを心がけています。

※現在全国でコーディネーターを募集しています。詳しくは8ページをご覧ください。

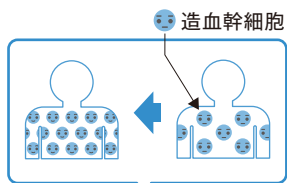
105例

何の数字か分かりますか？

これは、骨髓バンクで末梢血幹細胞提供が行われた移植数です。(5月末現在)

末梢血幹細胞提供の流れ

◎白血球を増やす薬(G-CSF)を注射
3〜4日間の通院または入院でG-CSFを注射すると、造血幹細胞が増えます。

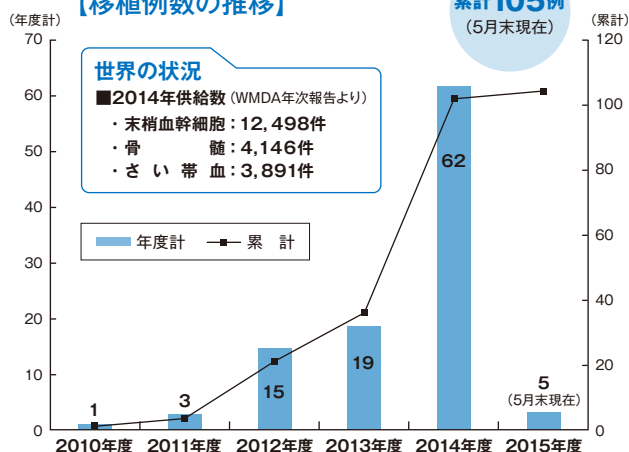


◎末梢血幹細胞採取
腕に針を刺し、専用の機器を使って採取します。



血液中の造血幹細胞だけを取り出し残りの血液を戻します。
採取した量が不十分な場合は、翌日の採取になります。所要時間は約3〜4時間です。
入院日数は、G-CSFの注射を入院で行う場合は、4泊5日〜6泊7日程度。通院で行う場合は、1泊2日〜3泊4日程度となります。

【移植例数の推移】



末梢血幹細胞移植数の推移

2010年10月から日本骨髓バンクではこれまでの骨髓移植に加えて、新たに非血縁者間の末梢血幹細胞移植を導入しました。現在海外の骨髓バンクでは、骨髓移植よりも多くの実施例があり、標準医療となっています。また、国内の血縁者間の移植においても、末梢血幹細胞移植が骨髓移植をはるかに上回っており、末梢血幹細胞移植に関する病院側の体制も整っています。

日本骨髓バンクで2014年度に行われた末梢血幹細胞移植は、62例と大幅に増え、累計で105例(2015年5月末現在)となりました。(移植例数の推移グラフ)これは、採取・移植認定施設が88と増え、2011年と比較すると患者側の移植希望が骨髓でも末梢血幹細胞でも「どちらでもよい」が増えたことによります。また、末梢血幹細胞移植は、ドナーの自己血採血が不要なことからコーディネイト期間が短い傾向にあります。

現段階では、安全性を確保し確実にコーディネイトを実施するために、3つの条件があります。

- ① ドナーと患者のHLA型が遺伝子レベルで適合していること。
- ② ドナーが末梢血幹細胞採取認定施設まで通院が可能なこと。
- ③ 患者さんが末梢血幹細胞移植認定施設で移植予定であること。

安全性が確認され、この条件が緩和されると末梢血幹細胞移植数も伸びていくと予想されます。ドナーと患者さんの希望に沿った採取・移植ができ、より多くの患者さんの救命につなげていけるよう実施体制の整備を進めてまいります。

INTERVIEW

提供ドナーインタビュー



ますやま けんじ
増山 健司さん

2009年/骨髓提供
2014年/末梢血幹細胞提供

今から7年前くらいに、たまたま行った献血ルームで登録できると知り、ドナー登録しました。姉もドナー登録しており、以前から骨髓バンクに興味がありました。登録した2カ月後に適合のお知らせを受け取り、「こんなに早く来るんだ」と驚き、自分のタイプは一致しやすいのかもしれないという予感がありました。まさか、その後10回もコーディネイトに上がるとは…(笑)。登録したからには1度は提供したいと思い、毎回適合のお知らせを受けても不安や迷いはありませんでした。もともとプラス思考で、今の年齢でないとできないことだと。そして骨髓と末梢血幹細胞提供をそれぞれ経験することができました。

骨髓提供は、全身麻酔をかけたので気付いたら終わっていました。だるさと腰のあたりの重さを感じましたが、すぐに歩くことができました。正直、尿道力テールを抜くときは嫌でした。

末梢血幹細胞提供は、連日注射をした影響で身体が張るような感覚がありましたが、苦しくなかったです。採取中は、4時間くらい動くことができなかったもので、腕がしびれてきましたし、眠くなったりしました。

どちらの提供も身体の負担はありましたが、患者さんから手紙をもらった時には、「提供して本当に良かった」と感動しました。家族や会社のサポートもあったからこそ、貴重な経験をすることができたと思います。

「命の感謝状」ドナーさん・患者さん!!

「ありがとう!」

骨髄バンクを通じて移植を受けた患者さんとドナーさんの手紙のやりとりは、移植後1年以内で2往復までとされています。その期間、手紙を書けなかった方や、もう一度感謝の気持ちを伝えたいと思っている方もいます。患者さんとドナーさんは、お互い顔も知らず、声を聞いたこともありませんが、この骨髄バンクニュースで、その思いをお伝えします。

患者さん

今年もまた暖かい春が訪れてきました。



大阪府在住。2007年に急性リンパ白血病を発病し、08年骨髄移植を受ける。現在、日本骨髄バンクの説明員として活動中。

おさか かずのり
芋坂 和範さん

私の二度目の人生、7回目の誕生日がやってきました。

2007年秋、仕事に追われバタバタしながらも充実した日々を送っていた時、突然「急性リンパ性白血病」を発症しました。入院当初は「なぜ自分が、悪い夢でもみてるのかな」「そんなことばかり考え現実を受入れられませんでした。

数日後、詳しい検査の結果、医師から「抗がん剤治療が順調にいったら、骨髄移植を受けたとして5年生存率が約半分。ハイリスクでかなり厳しい治療になります」と。隣にいた母が「どうか息子を助けてください。お願いします。お願いします」と泣き崩れた光景が今でも忘れられません。その時、母より先に逝つたらいけないと強く思いました。

家族や友達には負担を掛けられないよう不安感を出さず平常心を装ってましたが、抗がん剤治療中、一度敗血症という合併症で全身がふるえ一時危険な状態になり、その日以降「今晚寝たら明日の朝目が覚めないかも...このままここで最期になるかも...」と死の恐怖に怯えるようになりました。

病状も安定しいよいよ骨髄移植をという事になり、一人だけいる姉のHLA検査をしましたが、残念ながら一致せず断念。

そんな中、主治医から「よかった。骨髄バンクで一致する多数のドナーさんがみつかりました!!」

辛い闘病生活ではじめて生きる希望を感じた瞬間でした。

でもまだまだ現実には厳しかったです。骨髄移植前に前処置といわれる大量の抗がん剤と放射線全身照射。

移植後の一週間は頭痛、倦怠感、唾液も飲み込めないほど痛い口内炎、口内からの出血、吐き気、ひどい下痢と、止血のガーゼを噛み、突然くる嘔吐のため洗面器を持ち、トイレに座つて朝も夜もわからない苦しい日々...全身の苦痛は想像を超えてました。

移植の日の夕方、主治医が「芋坂さん安心してください!ドナーさんからこんなにいいっぱいいただいてきましたよ!!」とバックに入った骨髄液を持ってきてくれました。10時間かけ一滴一滴、大切に最後の一滴まで私のからだに...

「これで生きられる。やっとこれで生きられる」涙が止まりませんでした。

私は命を分けてくださったドナーさん。感謝の一言に尽きます。本当にありがとうございました。

私に命をくださったドナーさんも、きっとどこかで骨髄移植の話の聞いたりボランティアさんにお声掛けされドナー登録してくださったと思います。

私はもう一度いただいたこれからの人生、ドナーさんへの感謝を胸に、一人でも多くの患者さんが救われることを願い、骨髄バンク説明員のボランティア活動を微力ではありますが続けていきたいと思っています。

私には、感謝したい患者さんが3人います。



岡山県在住。日本骨髄バンクが出来る時、その年にドナー登録。1997年、3人目の子供の妊娠が判る頃に、適合通知が届き、骨髄提供。

はなだ よしとか
花田 吉隆さん

私には、感謝したい患者さんが3人います。

一人目は、私が骨髄提供者になるキッカケを作ってくれた患者さん。当時はまだ、骨髄バンクは無く患者さんやその家族支援者がドナーを探している時代でした。

通勤途中に聞くラジオから、何度も何度も骨髄提供を呼びかける患者さんがいました。

その熱意に打たれ、私に出来るならと思い血液検査を受けたのが始まりです。その時、医師に「何センチ身長が短くなるのですか?」と聞き、骨では無いと聞かされたことが、その後のボランティア活動では「私も最初は誤解していた。知らなくても当たり前」と根気強く活動できる原点になっている気がします。

二人目は、骨髄バンクから適合通知を受け、提供に向けて進んでいる時期に、ドナーを探しておられた地元に住む患者さん。家族の同意は得られましたが、職場への説明に悩んでいた時、その患者さんのことをラジオやテレビで紹介され、協力をお願いされていた声が追い風となり、休暇もスムーズに取ることが出来ました。

三人目は、もちろん私の骨髄を使っていた患者さんです。こんな私でも提供するまでには未経験の全身麻酔のこと、説明の際に聞く様々な知らない言葉で、少しは不安もありました。でも、その不安や悩んだことが、提供に反対される方の気持ちも理解でき、それが「命の重さ」なんだと気付くことが出来ました。

私の場合、採取が終わって麻酔から覚めても採取部位の痛みが無く、内心本当に提供が出来たのか?途中で中止になったのは?と疑っていましたが、患者さんにとつ

ては、移植後の大変な時期だったろう、約1カ月ほどで丁寧なお礼の手紙を本人と配偶者のお二人からいただき、初めて提供できた実感が湧きました。

もし、お手紙をいただくことが出来なければ、未だに半信半疑でいると思いますし、今のうちに、骨髄バンクのボランティアをしていただくかは判りません。

当時は、手紙は1回だけでしたから、その後の状況は判りませんでした。が、何年か経った頃だったか、バンクからリンパ球の提供を依頼されました。医師からの説明では「再発の可能性があるが、あなたのリンパ球が患者さんを助けてくれる」と説明を受け、提供することを即答しました。

成分献血に使うような機器で3~4時間位だったでしょうか?医師からは寝ていても良いと言われましたが、採取が終わるまで流れる血液を見ながら「しっかり病氣と戦つて来い!」「私をこれまで守つてくれた血液だから、きつと患者さんを守つてくれる!」と念じていました。

私は、患者さんへの返信の手紙の中で「一つお願いをしていました。私は一人の人に希望を与えることしか出来ないが、あなた(患者さん)の一日一日は多くの人に希望を与えることが出来るから、一日一日頑張つて生きてください!」とお願いでした。

元氣になられておられれば、私のお願いを聞いていただいたことへの感謝状を贈らせていただきたいと思います。

不幸にも再発されておられれば、今までの「あなた」の移植への決断と闘病への頑張り、に、「生きた証」と言う名の表彰状を送らせていただきたいと思います。

でも、実際には送ることは出来ません。その代りに、その思いを骨髄バンクのボランティアとして人と接する時には、「あなたとの経験で得たことを伝え、あなたに対する敬意と同様に接するように心がけています。そして、元氣になられた患者さんのことを聞くと、

「あなた」だと勝手に思つて喜んでいきます。移植を希望される方が、最良の時期に移

植が出来たことを願つてやみません。



日本骨髄バンクの現状

2015年3月末現在

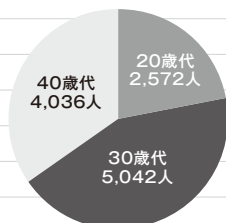
非血縁者間骨髄移植及び末梢血幹細胞移植の状況

提供者の状況

※採取されたものの移植に至らなかった7件を含みます。

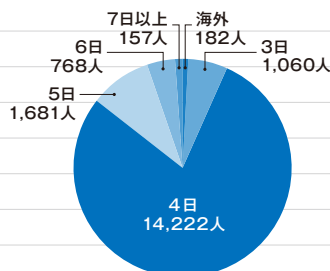
18,070件

年齢・男女



男性 11,650人

女性 6,420人



コーディネーター状況

(1992年から2015年3月までの累計数)

635,075件

ドナー登録者累計数

240,175件

HLA適合ドナー人数

89,627件

確認検査済みドナー人数

20,734件

最終同意面談人数

17,888件

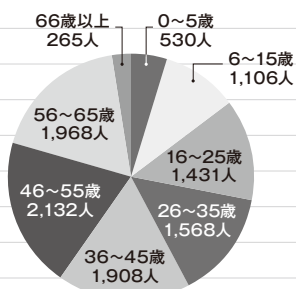
採取実施人数

※海外ドナー182人を除いた国内の数

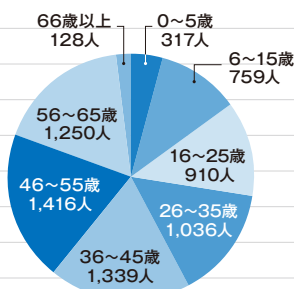
移植患者の状況

18,063件

年齢・男女



男性 10,908人



女性 7,155人

TOPICS

トピックス



AC広告キャンペーンに上原投手登場 7月から支援キャンペーンが再開

ACジャパンの骨髄バンクCMが7月から再開しました。新キャンペーンには、2006年6月にドナー登録を行った上原浩治投手が登場します。上原投手はこれまでも血液疾患で闘病中の子供たちとの交流や骨髄バンク推進全国大会への参加などを通じて骨髄バンクを支援していただいています。AC広告キャンペーン再開により、ドナー登録者拡大のための広報活動をさらに充実させ、ドナー登録へ強く働きかけていきます。



ドナー助成制度導入の自治体が 100を越えました

骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのために助成制度を導入している自治体が全国で100を越えました(2015年5月末現在、104自治体)。埼玉県では県内全市町村で導入されました。また前橋市(群馬県)、宇部市(山口県)、大村市(長崎県)は各県内で初となります。

制度の内容は各自治体によって異なります。ホームページに問い合わせ一覧を掲載しています。

[http://www.jmdp.or.jp/donation/about/post_202.html]



「骨髄バンク推進全国大会2015 in 高知」

日本骨髄バンクでは毎年1回、骨髄バンクの普及啓発を目的に「骨髄バンク推進全国大会」を開催しています。今年は高知県高知市で、地域の特性を活かしつつ、若年層のドナー登録推進に結びつくような内容で実施する予定です。本大会の入場は無料、どなたでも参加できます。

【日時】 9月12日(土) 12:30~
【場所】 高新RKCホール(高知市)



より一層の募金のお願い

当法人の運営資金は、国からの補助金、患者負担金および寄付によって支えられています。平成26年度の決算で、移植件数および寄付金の減少により予算比約1億円の減収となり、様々な経費削減に取り組んでいます。

骨髄バンク事業を継続していくには、皆さまの寄付金が必要不可欠です。

皆さまのより一層のご支援をお願いいたします。詳しくは、下記をご覧ください。

[http://www.jmdp.or.jp/help_us/]

登録内容変更方法のご案内

住所や電話番号の変更、お忘れではありませんか？

登録者のうち、
住所がわからない
方が約53,000人！

登録者約45万人の
うち53,890人の方
のご住所がわからず、
連絡がとれません。

① ウェブサイトで



造血幹細胞移植情報サービス

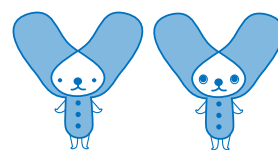
(骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト)

<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>



QRコード
で今すぐ
アクセス！

変更手続きは
簡単♪
忘れないでね！



- ① トップページ「ドナー登録者の方へ」から「登録内容変更ページ」を開き、ログイン画面でアクセスコード、生年月日、メールアドレスを入力し「認証」ボタンを押します。
※アクセスコードについては「2.はがきで」を参照
- ② ①で入力したメールアドレスに届く専用URLにアクセスし、ワンタイムパスワードと生年月日を入力してログインします。
- ③ 変更する項目を入力・確認して手続完了!!
※上記の方法で現在の登録内容も確認できます。

② はがきで

必要事項を記入し、ご郵送ください。

変更する項目に、☒ チェックを入れて、変更内容をご記入ください。

登録内容の変更		登録番号 0123456789
☐ 氏名	登録時氏名 田中 太郎 様	変更後氏名 山田 太郎 様
☐ 住所	〒 100-0001 東京都千代田区千代田	変更後住所 東京都千代田区千代田
☐ 電話番号	登録時番号 03-1234-5678	変更後番号 03-1234-5678
☐ 登録内容	☐ 登録取消 ☐ 保留解除 ☐ 保留開始 ☐ 保留期間 平成 1 年 1 月 1 日 から 平成 2 年 1 月 1 日まで	

0123456789 ← アクセスコード

ウェブサイトから
の変更にはこの
アクセスコードが
必要です。

③ 献血ルームで

最寄りの献血ルーム(骨髄登録受付場所)の受付窓口で、登録内容に変更がある旨をお伝えください。

その場で用紙にご記入いただくだけで、手続きは完了です。

※献血ルームの所在地、受付時間等は、上記1のウェブサイトのトップページから「一般の方へ」→「ドナー登録したい」を選び、「登録受付窓口」をご覧ください。

- *骨髄バンクのフリーダイヤルでは登録内容の変更は受付けておりません。
- *ドナー登録の保留や取消の手続きも上記1～3の方法で可能です。保留とは、治療中・海外勤務・出産等の理由で骨髄の提供を希望しない場合に、一時的に登録を保留にすることです。

バンクニュース発行のメールによるお知らせ

年2回(7月と12月に)発行している本紙「日本骨髄バンクNEWS」につきまして、次号より郵送の他、メールで発行のお知らせをします。ご希望の方は、以下の「造血幹細胞移植情報サービス」のホームページをご利用いただき手続きをお願いします。

メールアドレス入力

メールアドレス: sample@jrc.or.jp

登録状態: 継続

登録期間: 2015年1月1日 から 2015年12月31日

登録期間: 2015年1月1日 から 2015年12月31日

「受け取る」を選択

「受け取る」を選択

造血幹細胞移植情報サービス

(骨髄バンクさい帯血バンクポータルサイト)

<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>

「ドナー登録者登録内容変更ページ」

「登録内容変更ページ」にログイン後、「☒ バンクニュース送付について メールでの配信を受け取る」を選択してください。

(ドナー情報変更ページへ)

ご注意

- ※メール配信を受け取られた方にも、当面は郵送でバンクニュースは届きます。
- ※このメールは日本骨髄バンクのメールマガジンとは異なります。
- ※メール配信は、2015年12月号からの配信となります。
- ※ログインにはアクセスコードが必要です。

京都大学iPS細胞研究所「医療用iPS細胞ストック構築に関する研究」への協力について 終了報告

日本骨髄バンクは京都大学iPS細胞研究所が行う「医療用iPS細胞ストック構築に関する研究」に協力しましたので、ご報告します。

この研究は近い将来、iPS細胞を細胞移植医療へ応用するための極めて重要な基盤構築となる研究であり、これまでの治療法では病状改善の望めないような難病や外傷に苦しむ多くの患者さんへ一条の光となりうるものと期待されておりました。日本骨髄バンクの「白血病等の血液難病に苦しむ人達を救済する」という事業目的と共通するものです。

これまでに骨髄・末梢血幹細胞提供にご協力いただいた約1万8千人のドナーの方々のうち、取り消されたドナー・保留中などのドナーを除いた方々に本研究への協力に関するご案内を送りし、更に実際に対象となりうる「拒絶反応が起きにくいHLAの組み合わせ」を持つドナーの方に再度詳細なご案内をお送りしました。

当法人の協力は終了しましたが、iPS細胞ストック研究にご参加予定となった方は、引き続きよろしくお願いたします。

コーディネーター養成研修会受講者募集のお知らせ

日本骨髄バンクでは、コーディネーター養成研修会受講者を募集します。コーディネーター養成研修会を受講後、コーディネーターとしての認定を受け、当法人からの委嘱に基づき活動していただくことになります。

詳細はホームページ(<http://www.jmdp.or.jp/>)をご覧ください。

●募集地域(下記の地域で活動可能な方)

北海道:札幌、函館、旭川、釧路 東北:青森、岩手、宮城、福島
関東:東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬、新潟、長野
中部:静岡、福井、三重 近畿:京都、滋賀、大阪、兵庫、和歌山
中国四国:鳥取、広島、山口 九州:福岡、大分、長崎、熊本、沖縄

●募集人数 各地域とも若干名

●応募資格 原則25歳以上の健康な方
・骨髄バンク事業を理解し、熱意を持ってコーディネート業務に時間と労力を割くことができる方
・ただし骨髄または末梢血幹細胞移植のため登録中の患者さんやその家族、特定の患者の支援活動をしている方は除く

●研修期間 2015年8月29日～2016年2月

*東京での開講式・集合研修:8月29日(土)～8月30日(日)

- 研修内容 各地区事務局での集合研修(6回程度)、近隣の指定病院での実地研修(10回以上)など。中間試験、修了試験あり。
- 受講料(教材費を含む) 無料
*交通費:実地研修および地区事務局研修は当法人負担
東京での開講式(宿泊含む)は受講者負担(当法人の補助あり)
- 応募方法 履歴書(写真貼付)、職務経歴書、受講動機(400字原稿用紙1枚)を添えて下記までお申込みください。なお、応募書類は返却しません。(応募に関する個人情報は、選考手続きおよび今後の研修のためにのみ使用し、その他の目的で使用することはありません)
- 応募締め切り 2015年8月6日(木) 必着
- 応募先(問い合わせ先)
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19 廣瀬第2ビル7階
(公財)日本骨髄バンク「コーディネーター養成研修会」係
TEL 03-5280-2200

募金 の お 願 い

骨髄バンクの運営は、国庫補助金などの公的資金のほか、患者さんの負担金や皆さまからのご寄付によって成り立っています。当法人は公益財団法人に認定されているため、ご寄付をいただくと税制上の優遇措置が受けられます。

皆さまの善意をお寄せください



1. 郵便振替

郵便払込用紙で、最寄りの郵便局からお振込みをお願いします。手数料は当法人負担となります。



2. 銀行振込

☎0120-377-465 平日 9:00～17:30までお電話ください。
みずほ銀行間での手数料が無料になる専用振込用紙をお送りします。
※みずほ銀行本店の名称が「東京営業部」に変更になりました。



3. お電話で募金(クレジットカード)

ご使用になるカードをお手元にご用意のうえ、
☎0120-377-465 平日 9:00～17:30まで
お名前・ご住所・電話番号・カード番号・カードの有効期限・ご寄付の金額をお知らせください。



4. インターネットから募金(クレジットカード、楽天銀行、ポイント募金など)

- ①インターネットクレジットカード募金が変更になりました。
http://www.jmdp.or.jp/help_us/ または 骨髄バンク募金
- ②楽天銀行(旧イーバンク銀行)
http://www.jmdp.or.jp/help_us/howto/bank.html
24時間入出金が可能な楽天銀行をご利用いただけます(手数料無料)。なお、事前に口座の開設が必要です。



5. 自動口座引き落としによるご寄付

詳細は資料をご送付します。
☎0120-377-465 平日 9:00～17:30までお電話ください。



骨髄バンク提携クレジットカードのご案内

クレジットカードによるお支払額の一部が骨髄バンクに寄付される骨髄バンクサポーターカード。寄付金なしの一般会員と、毎年3,000円を寄付するサポーター会員、毎年1万円寄付する特別会員があります。骨髄バンクカードには、この3種類のNICOSカードのほか、各VISA付きカードがあります。
入会申込書を ☎0120-377-465 平日9:00～17:30までご請求ください。

□個人寄付者の方へ ※税額控除制度が適用されます。
これまでの「所得控除制度」に加え、税率に関係なく税額から寄付金の一定額を直接控除できる「税額控除制度」が適用されます。寄付者は2つの寄付控除制度のうち、より有利な方法を選択することができるようになります。

- ①所得控除を選択する場合(寄付金合計(※1)－2000円)×所得税率(※2)＝控除額
- ②税額控除を選択する場合(寄付金合計(※1)－2000円)×40%＝控除額(※3)
- ※1 所得額の40%が上限 ※2 課税所得により5%～40% ※3 所得税額の25%が上限

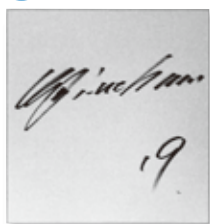


クイズに答えて賞品をGET! ○の中に入る数字を当ててください。



Q. 今年度の骨髄バンクAC広告キャンペーンに登場する野球選手は? 「○○浩治投手」

A賞



5名様

ポストン・レッドソックス
上原浩治投手
直筆サイン入り色紙

B賞



5名様

「TEAMダイジナトコロ」
バニアビーズ
直筆サイン入り色紙

C賞



10名様

横濱F・マリノス
奈良輪雄太選手、北谷史孝選手
直筆サイン入りエコバック

応募締切

2015年8月9日(日)

応募方法

【PC・スマートフォン】

<http://www.donorsnet.jp/news46/>に
アクセスし、応募フォームに必要事項を記入の上、
お申込みください。

【携帯】

送り先のメールアドレスにpresent@jmdp.or.jp
を入力し、件名を「プレゼント応募」として必要事項(①ク
イズの答え、②郵便番号、③住所、④電話番号、⑤名前、⑥
年齢、⑦何賞を希望するか、⑧ご意見・ご感想)を明記の
上、送信ください。

※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。